

第4章 都市計画対象道路事業実施区域及びその周囲の概況（地域特性）

「事業実施区域及びその周囲」（以下、「調査区域」といいます。）とは、環境要素に係る環境影響を受ける恐れがある地域として、事業実施区域から概ね片側約 3km（環境項目の中で、地域特性の把握範囲が最も広い景観項目の範囲「道路環境影響評価の技術手法（平成 24 年度版）（平成 25 年 3 月、国土交通省国土技術政策総合研究所）」を参考に設定しました。）を含む図 4-1 の範囲とし、地域特性を把握する範囲としました。

なお、統計資料等の行政単位による文献調査の場合は、「調査区域に含まれる愛知県一宮市・稲沢市・岩倉市、岐阜県各務原市・笠松町の 4 市 1 町」（以下、「調査区域内の市町」といいます。）で行いました。

これらの調査区域内の市町は、表 4-1 に示すとおりです。

表 4-1 調査区域内の市町

県名	市町名
愛知県	一宮市
	稲沢市
	岩倉市
岐阜県	各務原市
	笠松町
計	4 市 1 町

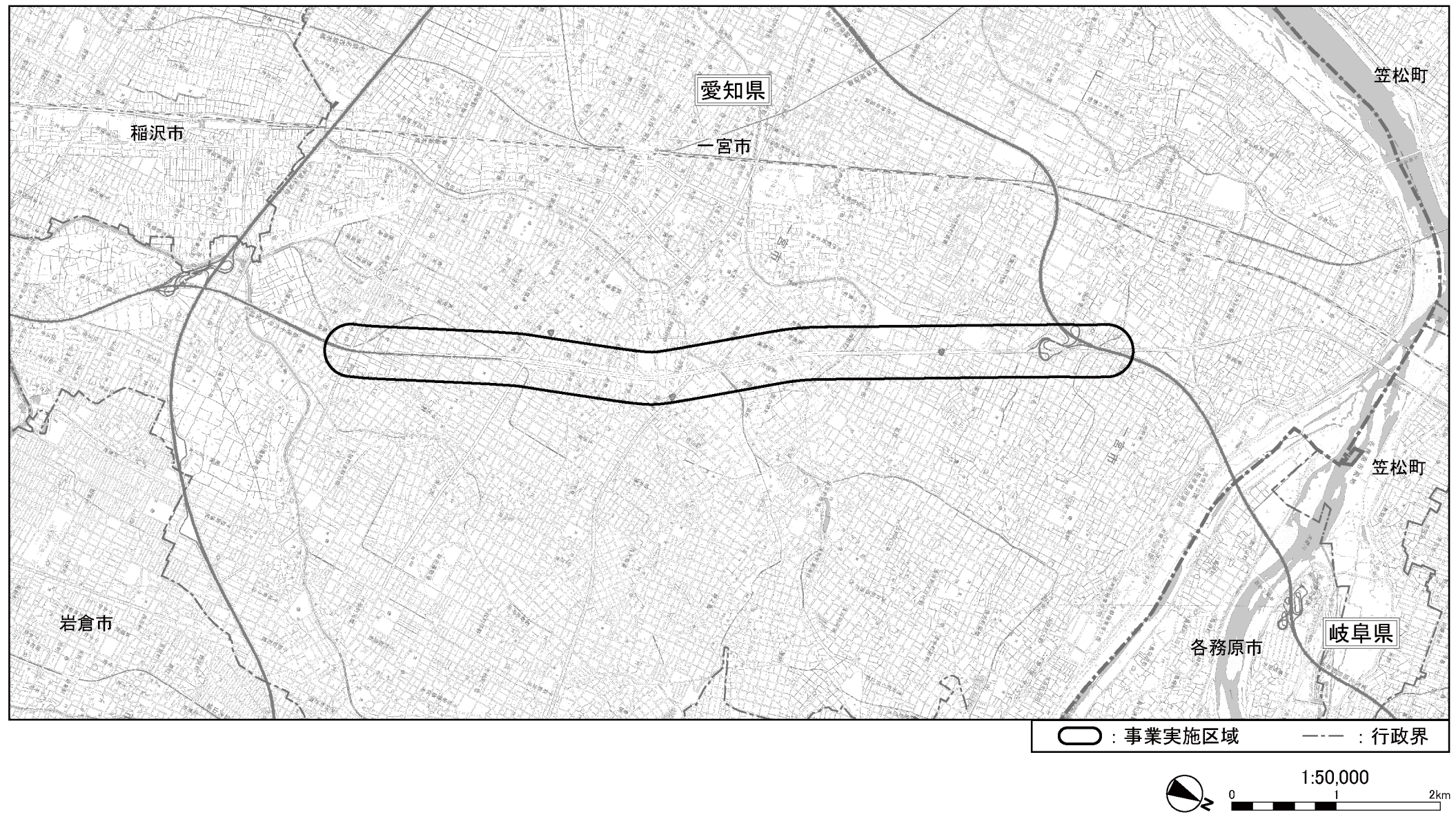


図 4-1 事業実施区域及びその周囲

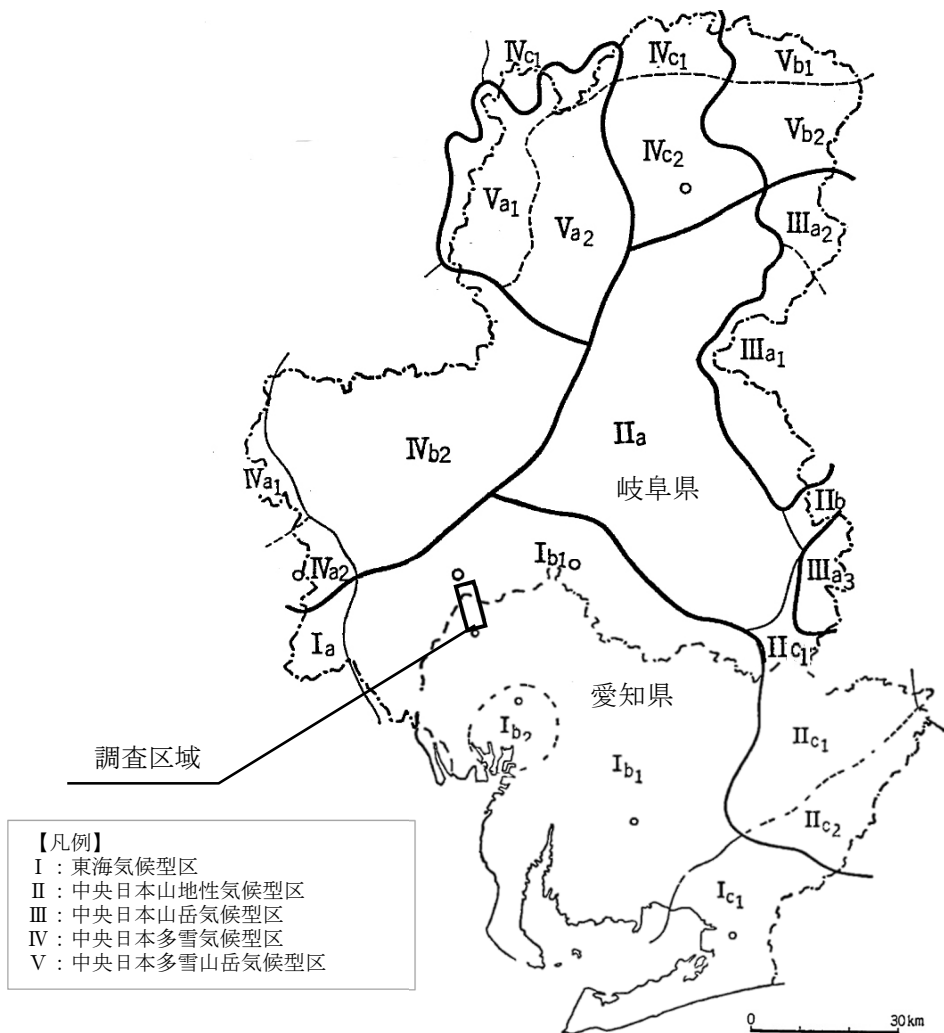
第1節 自然的状況

1.1 気象、大気質、騒音、振動その他の大気に係る環境の状況

1) 気象の状況

(1) 気象の概況

「日本地誌第12巻 岐阜県・愛知県」（昭和44年10月、日本地誌研究所）によると、調査区域は図4-1-1に示すとおり東海気候型区（I_{b1}）に属するとされています。この気候型区は、冬季は北西ないし西寄りの風が卓越し、降水は少なく温暖となる一方で、夏季は南寄りの風が吹き著しく高温になる特徴があります。ただし、日本海まで比較的距離が短く、冬季は関ヶ原などの山間を通る季節風の影響で、降雪となる場合も見られます。



出典：日本地誌第12巻 岐阜県・愛知県（昭和44年、日本地誌研究所）

図4-1-1 愛知県・岐阜県の気候区分

(2) 気象の状況

調査区域では、愛知県に位置する一宮地域雨量観測所において、降水量の観測が行われています（図 4-1-3 参照）。また、調査区域外に位置する名古屋地方気象台及び岐阜地方気象台では平均気温、降水量、日照時間、風向・風速等の気象観測が行われています。

各観測所における過去 10 年間の気象の概況は、表 4-1-1(1)～(2)、表 4-1-2(1)～(2)及び図 4-1-2 に示すとおりです。

一宮地域雨量観測所の年間降水量は 1,570.5～1,954.0mm となっています。また、名古屋地方気象台の年間平均気温は 15.8～17.0℃、年間降水量は 1,463.5～1,803.0mm、年間日照時間は 2,100.3～2,355.3 時間、年間平均風速は 3.0～3.1m/s、年間最多風向は北北西となっており、岐阜地方気象台の年間の年間平均気温は 15.7～17.0℃、年間降水量は 1,719.0～2,266.5mm、年間日照時間は 2,080.6～2,315.6 時間、年間平均風速は 2.6～2.7m/s、年間最多風向は西北西又は北西となっています。

また、過去 10 年間の気象概況は、名古屋地方気象台と岐阜地方気象台の月別気温、日照時間はほぼ同様の傾向が見られ、平均風速は名古屋地方気象台の方が岐阜地方気象台に比べ、0.2～0.6m/s 速く、降水量は岐阜地方気象台の方が、0.0～65.9mm 多く、一宮地域雨量観測所はその中間を示す頻度が高い傾向がみられます。

表 4-1-1(1) 一宮地域雨量観測所、岐阜地方気象台及び名古屋地方気象台における気象概況
(平均気温及び降水量：平成 23 年～令和 2 年)

年	項目	平均気温 (°C)		降水量 (mm)		
		名古屋	岐阜	一宮	名古屋	岐阜
平成 23 年		16.1	15.9	1710.0	1785.5	1779.0
平成 24 年		15.8	15.7	1739.5	1567.5	1871.5
平成 25 年		16.4	16.3	1622.5	1463.5	1875.5
平成 26 年		16.1	16.1	1570.5	1505.5	1719.0
平成 27 年		16.6	16.5	1954.0	1803.0	2266.5
平成 28 年		17.0	16.9	1734.0	1686.0	1988.0
平成 29 年		15.9	15.9	1731.0	1701.5	1864.0
平成 30 年		16.9	16.9	1728.5	1695.5	2087.0
令和元 (平成 31) 年		17.0	17.0	1640.0	1555.5	1798.0
令和 2 年		17.0	17.0	1904.0	1711.0	2088.5
平均		16.5	16.4	1733.4	1647.5	1933.7

注1) 「一宮」は一宮地域雨量観測所、「名古屋」は名古屋地方気象台、「岐阜」は岐阜地方気象台の観測結果である。

注2) 「平均」は、各年平均値（降水量は年間降水量）の平均値を示す。

出典：気象統計情報（気象庁ホームページ）

表 4-1-1 (2) 一宮地域雨量観測所、岐阜地方気象台及び名古屋地方気象台における気象概況
(日照時間、平均風速、最多風向及び雲量：平成 23 年～令和 2 年)

年	項目	日照時間(時間)		平均風速(m/s)		最多風向		雲量
		名古屋	岐阜	名古屋	岐阜	名古屋	岐阜	名古屋
平成 23 年		2151.5	2080.6	3.1	2.6	北北西)	北西)	6.5
平成 24 年		2159.5	2131.7	3.1	2.7	北北西)	西北西)	6.7
平成 25 年		2355.3	2315.6	3.1	2.7	北北西	北西	6.2
平成 26 年		2255.3	2208.7	3.1	2.7	北北西	北西	6.4
平成 27 年		2100.3	2115.1	3.0	2.6	北北西	西北西	6.6
平成 28 年		2168.2	2134.5	3.0	2.6	北北西)	西北西	6.6
平成 29 年		2221.0	2177.7	3.0	2.6	北北西	北西	6.3
平成 30 年		2330.6	2277.8	3.1	2.7	北北西	西北西)	6.4
令和元(平成31)年		2208.7	2195.9	3.1	2.6	北北西)	北西)	6.7
令和 2 年		2215.8	2172.7	3.0	2.6	北北西	西北西)	6.6
	平均	2216.6	2181.0	3.1	2.6	—	—	6.5

注1) 「名古屋」は名古屋地方気象台、「岐阜」は岐阜地方気象台の観測結果である。

注2) 「)」は統計を行う対象資料が許容範囲内で欠けているが、正常値(資料が欠けていない)と同等に扱う(準正常値)である。

注3) 「平均」は、各年平均値(日照時間は年間日照時間)の平均値を示す。

出典：気象統計情報(気象庁ホームページ)

表 4-1-2(1) 月別気象概況（一宮地域雨量観測所：平成 23 年～令和 2 年）

月	項目	降水量 (mm)	
		合計	日最大
1月		47.9	30.5
2月		70.2	55.5
3月		107.8	53.5
4月		147.3	77.5
5月		154.6	97.5
6月		193.9	71.5
7月		239.5	88.5
8月		191.5	108.0
9月		255.3	129.5
10月		188.3	201.0
11月		71.4	56.5
12月		65.9	50.5

注) 月合計降水量の10年間平均値を示す。

出典：気象統計情報（気象庁ホームページ）

表 4-1-2(2) 月別気象概況

（名古屋地方気象台及び岐阜地方気象台：平成 23 年～令和 2 年）

項目 月	平均気温 (°C)		総降水量 (mm)		風向・風速 (m/s)				日照時間 (時間)		雲量
	名古屋	岐阜	名古屋	岐阜	名古屋		岐阜		名古屋	岐阜	名古屋
					最多風向	平均風速	最多風向	平均風速			
1月	4.8	4.6	44.1	54.4	北北西	3.2	北西	2.6	185.1	169.7	5.3
2月	5.7	5.5	70.0	77.3	北北西	3.4	北西	2.8	173.9	165.4	5.6
3月	9.9	9.4	115.4	122.6	北北西	3.5	北西	3.0	208.2	207.9	5.6
4月	14.6	14.4	146.3	185.3	北北西	3.4	北西	3.0	203.9	202.3	6.3
5月	20.0	20.1	144.6	170.8	北西	3.2	西北西	2.9	232.7	232.0	6.6
6月	23.2	23.4	173.5	216.5	南南東	2.9	西北西	2.7	160.4	167.0	8.3
7月	27.2	27.3	228.3	294.2	南南東	2.9	南南西	2.6	167.3	172.0	8.2
8月	28.7	28.8	155.7	199.8	南南東	2.9	南南西	2.7	207.7	214.0	7.2
9月	24.7	24.7	240.0	257.1	北北西	2.9	西北西	2.6	162.5	166.5	7.3
10月	19.0	19.0	201.5	201.5	北北西	2.9	北西	2.4	172.2	175.1	6.4
11月	13.0	12.9	66.9	79.0	北北西	2.7	北西	2.2	171.7	165.5	5.7
12月	7.1	6.9	61.5	83.7	北北西	3.0	北西	2.5	168.9	155.6	5.7

注1) 「名古屋」は名古屋地方気象台、「岐阜」は岐阜地方気象台の観測結果である。

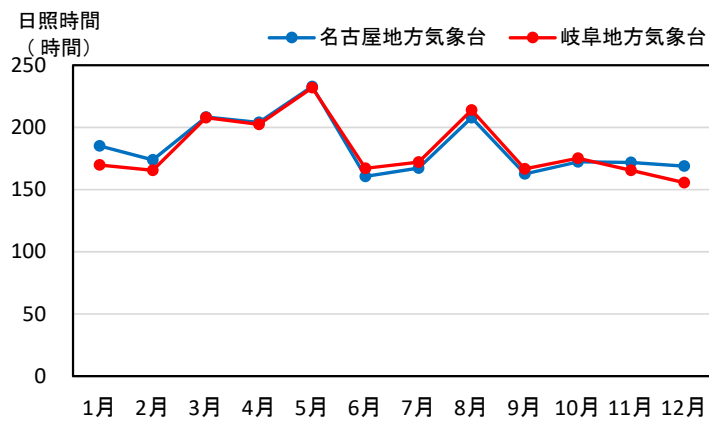
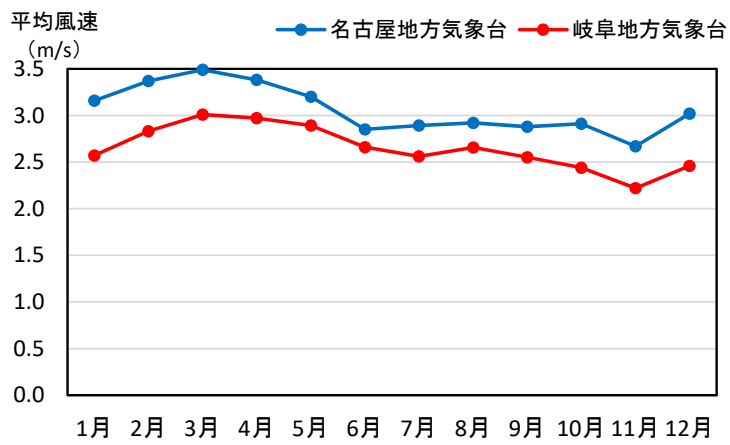
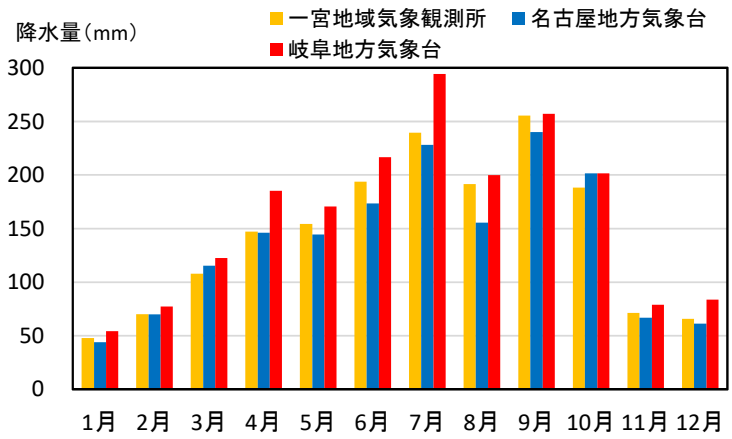
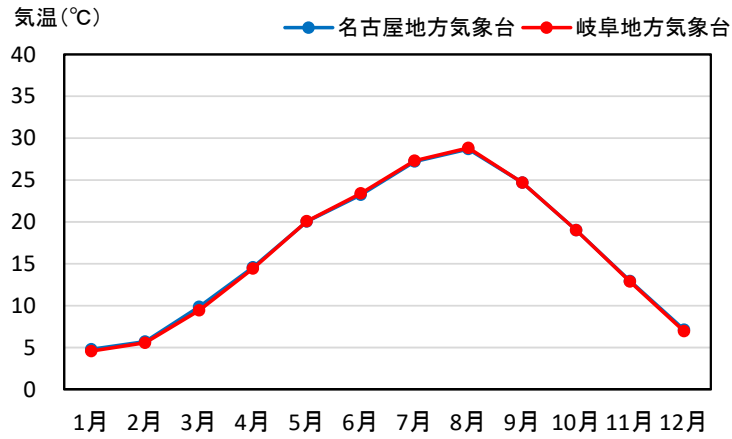
注2) 降水量は月合計降水量の10年間平均値を示す。

注3) 最多風向は10年間における当該月の最多となる風向を示す。

注4) 平均風速は月平均風速の10年間平均値を示す。

注5) 日照時間は月合計時間の10年間平均値を示す。

出典：気象統計情報（気象庁ホームページ）



出典：気象統計情報（気象庁ホームページ）

図 4-1-2 月別気象概況（平成 23 年～令和 2 年）



凡例

記号	項目
●	気象観測所

出典：地域気象観測所一覧（気象庁ホームページ）

図 4-1-3 気象観測所位置図

2) 大気質の状況

(1) 測定局の状況

調査区域に位置する大気汚染常時監視測定局及び令和元(平成 31)年度の測定項目は、表 4-1-3 に示すとおりです。一般環境大気測定局(一般局)は 2 局あり、自動車排出ガス測定局(自排局)はありません。

また、令和元(平成 31)年度の降下ばいじんの測定箇所は表 4-1-4 に示すとおりであり、4 箇所
で測定が行われています。

表 4-1-3 一般局の測定項目(令和元(平成 31)年度)

No	県	測定局等	所在地	測定項目						管理主体	種別
				二酸化硫黄	窒素酸化物	一酸化炭素	浮遊粒子状物質	光化学オキシダント	微小粒子状物質		
1	愛知県	一宮市松降通	一宮市松降通七丁目 27-1	○	○		○	○	○	愛知県	一般局
2		一宮市木曾川消防署	一宮市木曾川町大字黒田字北宿二ノ切 247-1		○		○	○		愛知県	

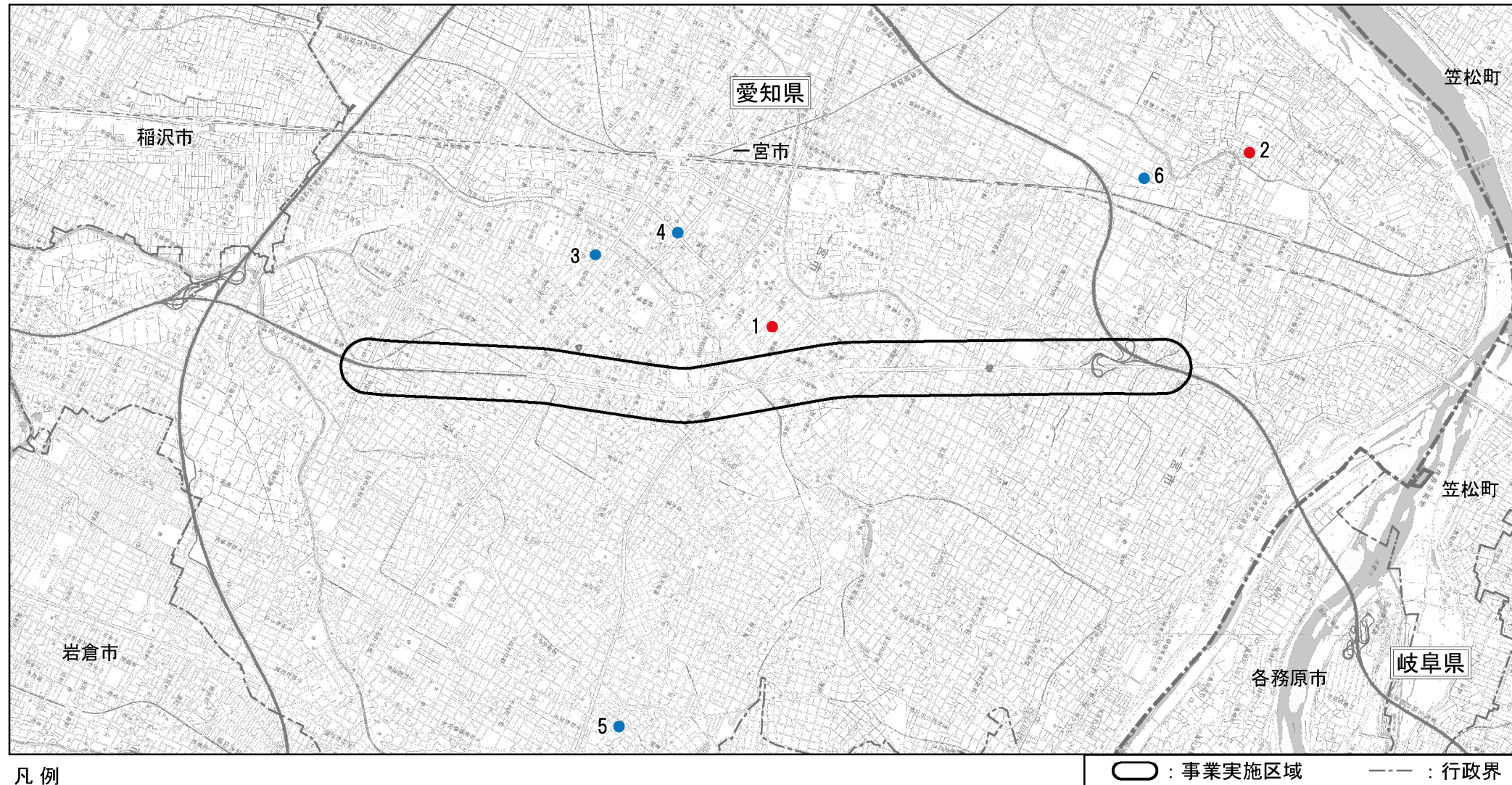
注)「○」は当該測定局において当該項目の測定を行っていることを示す。

出典：2019年度大気汚染調査結果(令和2年6月、愛知県)

表 4-1-4 降下ばいじん測定箇所(令和元(平成 31)年度)

No	県	測定箇所	所在地	調査主体
3	愛知県	一宮保健所	一宮市古金町 1-3	愛知県
4		オリナス一宮	一宮市本町 2 丁目	一宮市
5		西成東小学校	一宮市春明中切	一宮市
6		一宮市役所木曾川庁舎	一宮市木曾川町内割田一の通り	一宮市

出典：降下ばいじん調査結果(愛知県ホームページ)



凡例

記号	項目
● (Red)	一般環境大気測定局
● (Blue)	降下ばいじん測定箇所

○ : 事業実施区域 - - - : 行政界



出典：2019年度大気汚染調査結果（令和2年6月、愛知県）
降下ばいじん調査結果（愛知県ホームページ）

図 4-1-4 大気質測定箇所

(2) 二酸化窒素 (NO₂)

令和元(平成31)年度の測定結果は表4-1-5に、過去5年間(平成27年度～令和元(平成31)年度)の経年変化は表4-1-6及び図4-1-5に示すとおりです。

令和元(平成31)年度における1日平均値の年間98%値は0.020ppm～0.021ppmとなっており、すべての地点で環境基準を達成しています。過去5年間の1日平均値の年間98%値は、概ね横ばい傾向にあります。

なお、調査区域外に存在する自動車排出ガス測定局(稲沢市役所)では、令和元(平成31)年度における1日平均値の年間98%値は環境基準を達成しており、過去5年間の1日平均値の年間98%値は概ね横ばい傾向にあります。

表4-1-5 二酸化窒素の測定結果(令和元(平成31)年度)

No	県	種別	測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	日平均値が0.06ppmを超えた日数	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数	1時間値の最高値	1日平均値の年間98%値	環境基準との比較
				日	時間		ppm	日	日	ppm	
1	愛知県	一般局	一宮市松降通	363	8,664	0.010	0	0	0.052	0.021	○
2			一宮市木曾川消防署	355	8,460	0.008	0	0	0.040	0.020	○

注1) 環境基準との比較は、以下に示す長期的評価による。(○:達成 ×:非達成)

年間における1時間値の1日平均値の98%値が0.04ppm～0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。

出典: 2019年度大気汚染調査結果(令和2年6月、愛知県)

表4-1-6 二酸化窒素の経年変化(1日平均値の年間98%値)

No	県	種別	測定局名	年 度				
				平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元(平成31)年
1	愛知県	一般局	一宮市松降通	0.024	0.023	0.023	0.022	0.021
2			一宮市木曾川消防署	0.022	0.021	0.021	0.020	0.020

出典: 2019年度大気汚染調査結果(令和2年6月、愛知県)

平成30年度大気汚染調査結果(令和元年6月、愛知県)

平成29年度大気汚染調査結果(平成30年6月、愛知県)

平成28年度大気汚染調査結果(平成29年6月、愛知県)

平成27年度大気汚染調査結果(平成28年6月、愛知県)

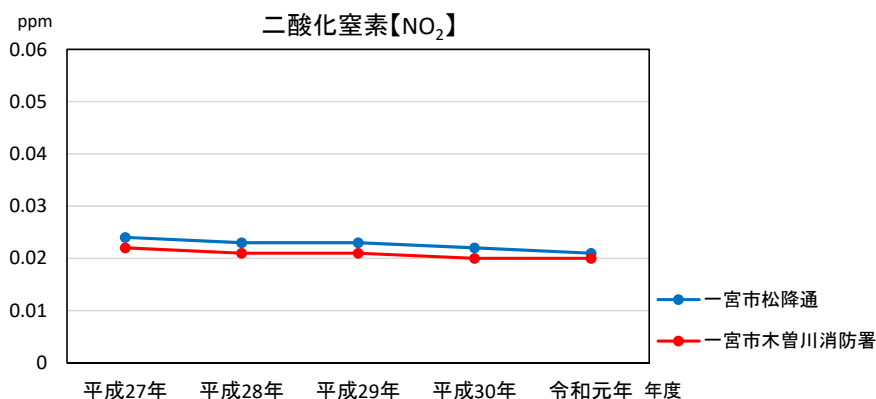


図4-1-5 二酸化窒素の経年変化(1日平均値の年間98%値)

(3) 浮遊粒子状物質 (SPM)

令和元(平成 31)年度の測定結果は表 4-1-7 に、過去 5 年間 (平成 27 年度～令和元(平成 31)年度) の経年変化は表 4-1-8 及び図 4-1-6 に示すとおりです。

令和元(平成 31)年度において 1 時間値が 0.20mg/m³ を超過した時間はなく、また 1 日平均値の年間 2%除外値は 0.037mg/m³ となっており、すべての地点で環境基準を達成しています。過去 5 年間の 1 日平均値の年間 2%除外値は、概ね横ばい傾向にあります。

なお、調査区域外に存在する自動車排出ガス測定局 (稲沢市役所) では、令和元 (平成 31) 年度において環境基準を達成しており、過去 5 年間の 1 日平均値の年間 2%除外値は、概ね横ばい傾向にあります。

表 4-1-7 浮遊粒子状物質の測定結果 (令和元(平成 31)年度)

No	県	種別	測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	1 時間値が 0.20mg/m ³ を超えた時間数	1 日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日数	環境基準との比較 (短期的)	1 日平均値の年間 2%除外値	1 日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日が 2 日以上連続したことの有無	環境基準との比較 (長期的)
				日	時間	mg/m ³	時間	日	達成・非達成	mg/m ³	達成・非達成	
1	愛知県	一般局	一宮市松降通	363	8,712	0.012	0	0	○	0.037	無	○
2			一宮市木曾川消防署	363	8,721	0.014	0	0	○	0.037	無	○

注) 環境基準との比較は、以下に示す評価による。(○:達成 ×:非達成)

短期的評価: 連続して又は随時行った1時間値が0.20mg/m³以下であること。かつ、1時間値の1日平均値が0.1mg/m³以下であること。

長期的評価: 1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、2%除外値が0.10mg/m³以下であること。かつ、1日平均値が0.1mg/m³を超える日が2日以上連続しないこと。

出典: 2019年度大気汚染調査結果 (令和2年6月、愛知県)

表 4-1-8 浮遊粒子状物質の経年変化 (1 日平均値の年間 2%除外値)

No	県	種別	測定局名	年 度				
				平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元 (平成 31) 年
1	愛知県	一般局	一宮市松降通	0.045	0.040	0.036	0.038	0.037
2			一宮市木曾川消防署	0.047	0.032	0.036	0.044	0.037

出典: 2019年度大気汚染調査結果 (令和2年6月、愛知県)

平成30年度大気汚染調査結果 (令和元年6月、愛知県)

平成29年度大気汚染調査結果 (平成30年6月、愛知県)

平成28年度大気汚染調査結果 (平成29年6月、愛知県)

平成27年度大気汚染調査結果 (平成28年6月、愛知県)

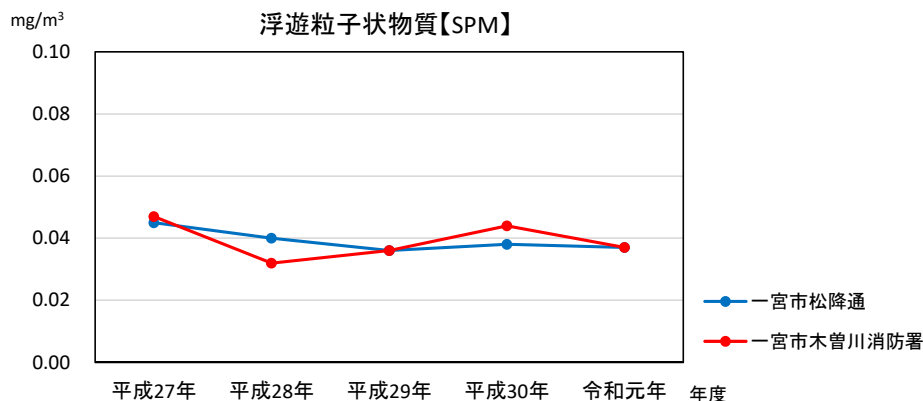


図 4-1-6 浮遊粒子状物質の経年変化 (1 日平均値の年間 2%除外値)

(4) 二酸化硫黄 (SO₂)

令和元(平成 31)年度の測定結果は表 4-1-9 に、過去 5 年間 (平成 27 年度～令和元(平成 31)年度) の経年変化は表 4-1-10 及び図 4-1-7 に示すとおりです。

令和元(平成 31)年度において 1 時間値が 0.1ppm を超過した時間はなく、また 1 日平均値の年間 2%除外値は 0.003ppm となっており、環境基準を達成しています。過去 5 年間の 1 日平均値の年間 2%除外値は、すべて 0.003ppm です。

表 4-1-9 二酸化硫黄の測定結果 (令和元(平成 31)年度)

No	県	種別	測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	1 時間値が 0.1ppm を超過した時間数	1 日平均値が 0.04ppm を超えた日数	1 日平均値の年間 2%除外値	1 日平均値が 0.04ppm を超えた日が 2 日以上連続したことの有無	環境基準との比較 (長期的)
				日	時間	ppm	時間	日	ppm	達成・非達成	
1	愛知県	一般局	一宮市松降通	365	8,696	0.001	0	0	0.003	無	○
2			一宮市木曾川消防署	-	-	-	-	-	-	-	-

注1) 環境基準は、1時間値の1日平均値が0.04ppm 以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm 以下であること。

注2) 環境基準との比較は、以下に示す長期的評価による。(○:達成 ×:非達成)

1時間値が0.1ppm 以下、年間にわたる1日平均値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値が0.04ppm 以下であること。ただし、1日平均値が0.04ppm を超えた日が2日以上連続しないこと。

出典：2019年度大気汚染調査結果 (令和2年6月、愛知県)

表 4-1-10 二酸化硫黄の経年変化 (1 日平均値の年間 2%除外値)

No	県	種別	測定局名	年度				
				平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元 (平成 31) 年
1	愛知県	一般局	一宮市松降通	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003
2			一宮市木曾川消防署	-	-	-	-	-

出典：2019年度大気汚染調査結果 (令和2年6月、愛知県)

平成30年度大気汚染調査結果 (令和元年6月、愛知県)

平成29年度大気汚染調査結果 (平成30年6月、愛知県)

平成28年度大気汚染調査結果 (平成29年6月、愛知県)

平成27年度大気汚染調査結果 (平成28年6月、愛知県)

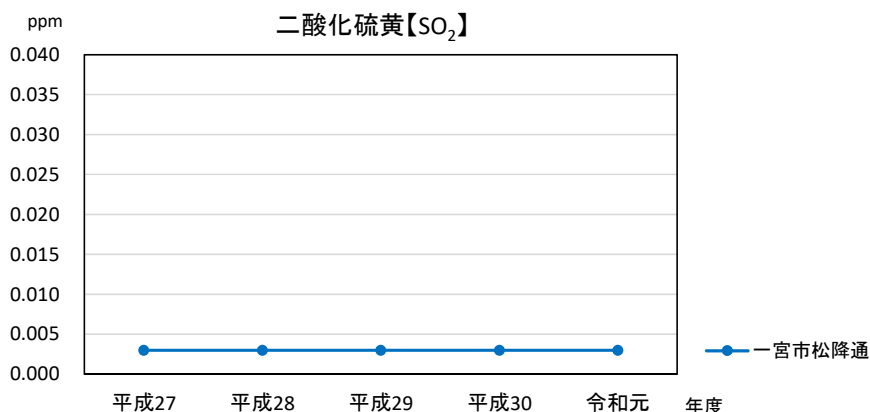


図 4-1-7 二酸化硫黄の経年変化 (1 日平均値の年間 2%除外値)

(5) 光化学オキシダント (O_x)

令和元(平成 31)年度の測定結果は表 4-1-11 に、過去 5 年間(平成 27 年度～令和元(平成 31)年度)の経年変化は表 4-1-12 及び図 4-1-8 に示すとおりです。

令和元(平成 31)年度における昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた日数は 81～91 日であり、すべての地点で環境基準を達成していません。過去 5 年間の昼間の 1 時間値の最高値は、増加傾向にあります。

なお、調査区域外に存在する自動車排出ガス測定局(稲沢市役所)では、令和元(平成 31)年度において環境基準を達成しておらず、過去 5 年間の昼間の 1 時間値の最高値は、増加傾向にあります。

表 4-1-11 光化学オキシダントの測定結果(令和元(平成 31)年度)

No	県	種別	測定局	昼間測定日数	昼間測定時間	昼間年平均値	昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた時間数	昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた日数	環境基準との比較	昼間の 1 時間値が 0.12ppm 以上の時間数	昼間の 1 時間値が 0.12ppm 以上の日数	昼間の 1 時間値の最高値
				日	時間	ppm	時間	日	達成・非達成	時間	日	ppm
1	愛知県	一般局	一宮市松降通	366	5,459	0.033	400	81	×	3	1	0.128
2			一宮市木曾川消防署	366	5,445	0.034	462	91	×	4	1	0.131

注1) 環境基準は、1時間値が0.06ppm以下であること。

注2) 環境基準との比較は、以下に示す評価による。(○:達成 ×:非達成)

年間を通じて1時間値が0.06ppm以下であること。ただし、5時から20時の昼間時間帯について評価する。

出典:2019年度大気汚染調査結果(令和2年6月、愛知県)

表 4-1-12 光化学オキシダントの経年変化(昼間の 1 時間値の最高値)

No	県	種別	測定局名	年 度				
				平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元(平成 31)年
1	愛知県	一般局	一宮市松降通	0.114	0.098	0.103	0.119	0.128
2			一宮市木曾川消防署	0.109	0.105	0.106	0.113	0.131

出典:2019年度大気汚染調査結果(令和2年6月、愛知県)

平成30年度大気汚染調査結果(令和元年6月、愛知県)

平成29年度大気汚染調査結果(平成30年6月、愛知県)

平成28年度大気汚染調査結果(平成29年6月、愛知県)

平成27年度大気汚染調査結果(平成28年6月、愛知県)

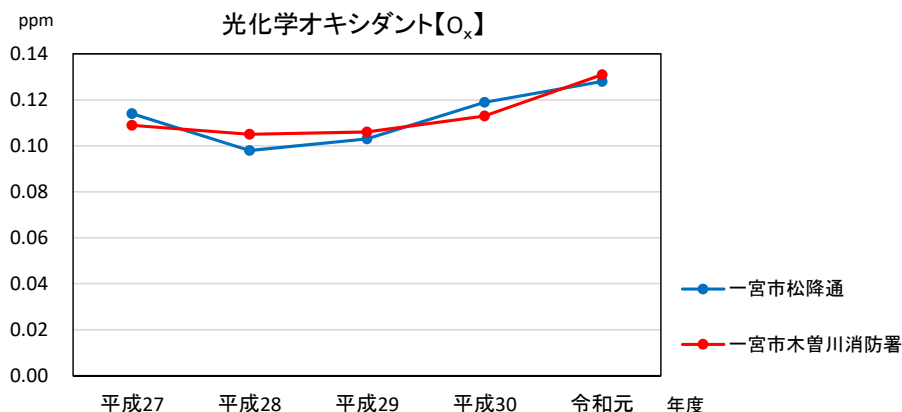


図 4-1-8 光化学オキシダントの経年変化(1時間値の最高値)

(6) 微小粒子状物質 (PM2.5)

令和元(平成31)年度の測定結果は表4-1-13に、過去5年間(平成27年度～令和元(平成31)年度)の経年変化は表4-1-14及び図4-1-9に示すとおりです。

令和元(平成31)年度における1日平均値の年間98パーセンタイル値は $24.8\mu\text{g}/\text{m}^3$ 、年平均値は $10.2\mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、環境基準を達成しています。過去5年間の年平均値は、減少傾向にあります。

なお、調査区域外に存在する自動車排出ガス測定局(稲沢市役所)では、令和元(平成31)年度において環境基準を達成しており、過去5年間の年平均値は、減少傾向にあります。

表4-1-13 微小粒子状物質の測定結果(令和元(平成31)年度)

No	県	種別	測定局	有効測定日数	1日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数	1日平均値の年間98パーセンタイル値	環境基準との比較	年平均値	環境基準との比較
				日	日	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	達成・非達成	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	達成・非達成
1	愛知県	一般局	一宮市松降通	363	0	24.8	○	10.2	○
2			一宮市木曾川消防署	-	-	-	-	-	-

注1) 環境基準は、1年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

注2) 環境基準との比較は、以下に示す評価による。(○:達成 ×:非達成)

1日平均値のうち98パーセンタイル値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、年平均値 $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

出典: 2019年度大気汚染調査結果(令和2年6月、愛知県)

表4-1-14 微小粒子状物質の経年変化(年平均値)

No	県	種別	測定局名	年度				
				平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元(平成31)年
1	愛知県	一般局	一宮市松降通	14.2	13.2	12.4	11.6	10.2
2			一宮市木曾川消防署	-	-	-	-	-

出典: 2019年度大気汚染調査結果(令和2年6月、愛知県)

平成30年度大気汚染調査結果(令和元年6月、愛知県)

平成29年度大気汚染調査結果(平成30年6月、愛知県)

平成28年度大気汚染調査結果(平成29年6月、愛知県)

平成27年度大気汚染調査結果(平成28年6月、愛知県)

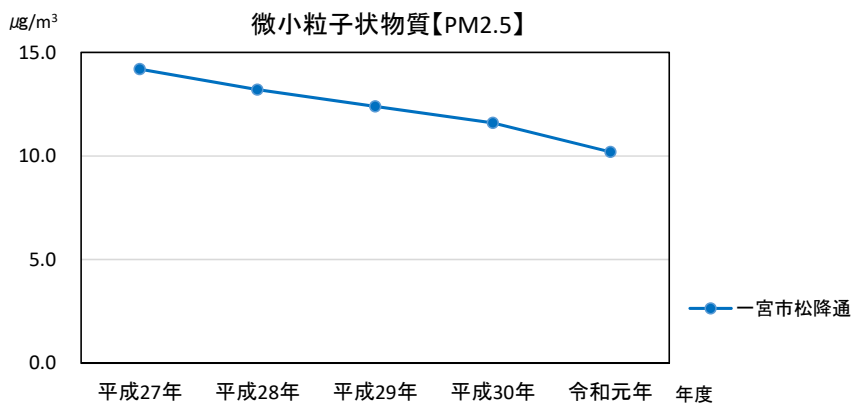


図4-1-9 微小粒子状物質の経年変化(年平均値)

(7) 降下ばいじん

令和元(平成31)年度の測定結果は表4-1-15に、過去5年間(平成27年度～令和元(平成31)年度)の経年変化は表4-1-16及び図4-1-10に示すとおりです。

令和元(平成31)年度における年平均値は1.34～1.97t/km²・月であり、すべての地点で「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に記載の参考値(10t/km²・月)を下回っています。過去5年間の年平均値は、概ね横ばい傾向にあります。

表4-1-15 降下ばいじんの測定結果(令和元(平成31)年度)

No	県	測定局	年平均値			参考値との比較
			合計	不溶解性成分	溶解性成分	
			t/km ² ・月	t/km ² ・月	t/km ² ・月	
3	愛知県	一宮保健所	1.34	0.62	0.72	参考値未満
4		オリナス一宮	1.37	0.67	0.70	参考値未満
5		西成東小学校	1.97	0.94	1.03	参考値未満
6		一宮市役所木曾川庁舎	1.62	0.93	0.69	参考値未満

注) 参考値は、「年平均値が10t/km²・月以下であること」をいう。「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」(平成25年3月、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人土木研究所)

出典：降下ばいじん調査結果(愛知県ホームページ)

表4-1-16 降下ばいじんの経年変化(年平均値)

No	県	測定局名	年度				
			平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元(平成31)年
3	愛知県	一宮保健所	1.29	1.40	1.55	1.52	1.34
4		オリナス一宮	-	1.34	1.64	1.56	1.37
5		西成東小学校	1.85	1.67	1.88	1.89	1.97
6		一宮市役所木曾川庁舎	1.55	1.60	1.68	1.92	1.62

出典：降下ばいじん調査結果(愛知県ホームページ)

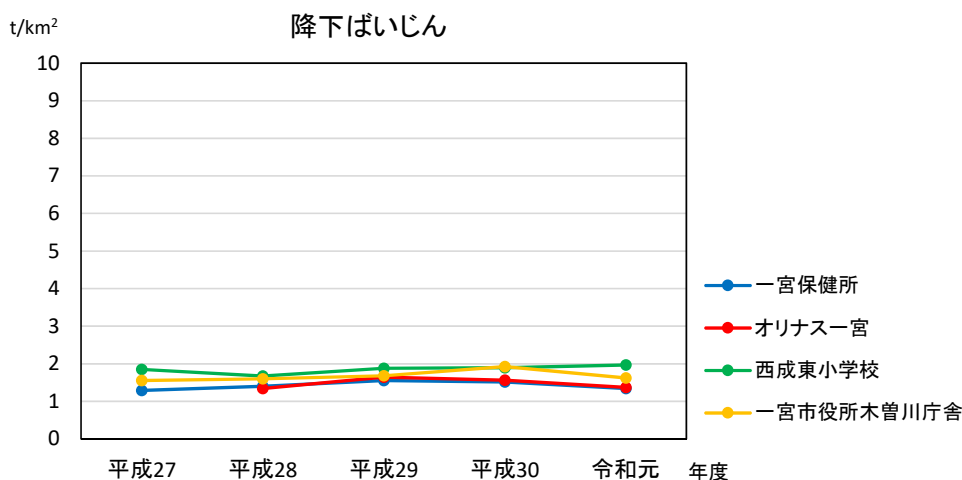


図4-1-10 降下ばいじんの経年変化(年平均値)

3) 騒音の状況

(1) 一般環境騒音

調査区域における令和元(平成 31)年度の一般環境騒音の測定地点は図 4-1-11 に、評価結果は表 4-1-17 に示すとおりです。

一般環境騒音は、各務原市の 1 地点において環境基準を達成しています。

表 4-1-17 一般環境騒音測定結果 (令和元(平成 31)年度)

No	県	市	測定地点	地域 類型	測定値	環境基準	環境基準の 達成状況
					昼間	昼間	
					dB	dB	達成○ 非達成×
1	岐阜県	各務原市	神明神社 (川島松原町)	B	43.0	55	○

注1) 地域類型A：専ら住居の用に供される地域

地域類型B：主として住居の用に供される地域

地域類型C：相当数の住居と併せて商業、工業等の用に供される地域

注2) 測定値は昼間2時間帯の測定結果のうち、値の高い方を記載した。

出典：環境報告書令和2年度版（令和元年度実績報告）（令和2年9月、各務原市）

(2) 道路交通騒音

① 面的評価による環境基準の適合状況

調査区域における平成 27 年度から令和元(平成 31)年度の道路交通騒音の面的評価区間は、図 4-1-11 に、評価結果は表 4-1-18(1)～(2)に示すとおりです。

道路交通騒音の面的評価区間は、一宮市に 19 箇所、岩倉市に 4 箇所、各務原市に 2 箇所あり、環境基準達成率は 39.7～100.0%となっています。

表 4-1-18(1) 道路交通騒音面の評価結果

No	県	市	路線名	測定区間	区間 延長 (km)	騒音レベル (dB)		環境基準達成戸数(戸)			全戸 数	環境基準達成率(%)			調査 年度
						昼間	夜間	昼間	夜間	昼夜		昼間	夜間	昼夜	
2	愛知県	一宮市	国道 22 号	観音町～高田	3.1	66	63	295	295	295	295	100	100	100	令和 元年
3			国道 22 号	丹陽町九日市場～丹陽町五日市場	2.2	73	70	81	65	65	123	65.9	52.8	52.8	
4			国道 155 号	柚木嵐～千秋町加茂	2.0	64	61	103	103	103	103	100	100	100	
5			県道大垣一宮線	籠屋 3 丁目～音羽 3 丁目	2.4	71	69	238	210	210	254	93.7	82.7	82.7	
6			県道一宮蟹江線	公園通～大和町於保	3.4	67	59	867	867	867	867	100	100	100	
7			県道萩原三条北方線	大毛～光明寺	1.3	62	58	23	23	23	23	100	100	100	
8			県道江南木曾川線	瀬部～大毛	3.5	67	63	420	420	420	423	99.3	99.3	99.3	
9			市道一宮春日井線	大和町妙興寺～千秋町浅野羽根	4.0	68	61	484	484	484	485	99.8	99.8	99.8	
10			県道岐阜稲沢線	木曾川町黒田～開明	3.7	67	62	410	410	410	410	100	100	100	平成 30 年
11			県道萩原三条北方線	開明～今伊勢町馬寄	1.5	66	59	12	12	12	12	100	100	100	
12			県道名古屋一宮線	音羽 1 丁目～木曾川町黒田	5.9	68	64	1185	1183	1183	1191	99.5	99.3	99.3	
13			国道 22 号	丹陽町九日市場～富士 3 丁目	3.5	70	70	155	71	71	179	86.6	39.7	39.7	平成 28 年
14			名神高速道路	丹陽町九日市場～大和町北高井	4.6	66	61	444	442	442	450	98.7	98.2	98.2	
15			国道 155 号	千秋町佐野～富士 3 丁目	2.3	71	70	151	121	121	158	95.6	76.6	76.6	
16			国道 155 号	柚木嵐～観音町	1.7	60	58	216	216	216	216	100	100	100	
17			国道 155 号	八幡 3 丁目～大和町荊安賀	2.1	65	59	781	781	781	781	100	100	100	
18			県道尾張一宮停車場線	栄 3 丁目～本町 3 丁目	0.3	66	68	236	221	221	236	100	93.6	93.6	平成 27 年
19			県道一宮犬山線	大浜 2 丁目～時之島	2.8	68	64	719	713	713	721	99.7	98.9	98.9	
20			県道一宮各務原線	文京 1 丁目～佐千原	1.8	68	61	498	491	491	500	99.6	98.2	98.2	

表 4-1-18(2) 道路交通騒音面的評価結果

No	県	市	路線名	測定区間	区間延長 (km)	騒音レベル (dB)		環境基準達成戸数(戸)			全戸数	環境基準達成率(%)			調査年度
						昼間	夜間	昼間	夜間	昼夜		昼間	夜間	昼夜	
21	愛知県	岩倉市	県道春日井一宮線	下本町～大地町	1.0	65	60	515	515	515	515	100	100	100	令和元年
22			県道春日井一宮線	大地町～大地町	0.1	70	64	14	14	14	15	93.3	93.3	93.3	
23			県道春日井一宮線	大地町～北島町	1.6	67	62	89	89	89	91	97.8	97.8	97.8	
24			県道浅野羽根岩倉線	中本町西出口～鈴井町下新田	1.4	67	65	668	661	661	668	100	99.0	99.0	平成27年
25	岐阜県	各務原市	一宮川島線	(川島渡町～川島松原町)	2.4	68	62	341	341	341	341	100	100	100	令和元年
26			東海北陸自動車道	(川島渡町～川島笠田町)	2.1	58	52	17	17	17	17	100	100	100	平成27年

注1) 各測定区間における最新調査年度の結果を示す。

注2) 昼間：6～22時、夜間：22～6時

注3) 環境基準達成は「騒音に係る環境基準について」（平成10年9月30日環境庁告示第64号）に基づく「幹線交通を担う道路に近接する空間」における環境基準（昼間70dB、夜間65dB）により評価する。

注4) 各務原市（No. 25及びNo. 26）の測定区間は、区間延長から推定される区間を示す。

出典：令和2年版 いちのみやの環境（令和2年12月、一宮市）

令和元年版 いちのみやの環境（令和元年12月、一宮市）

平成30年版 いちのみやの環境（平成30年12月、一宮市）

平成29年版 いちのみやの環境（平成29年12月、一宮市）

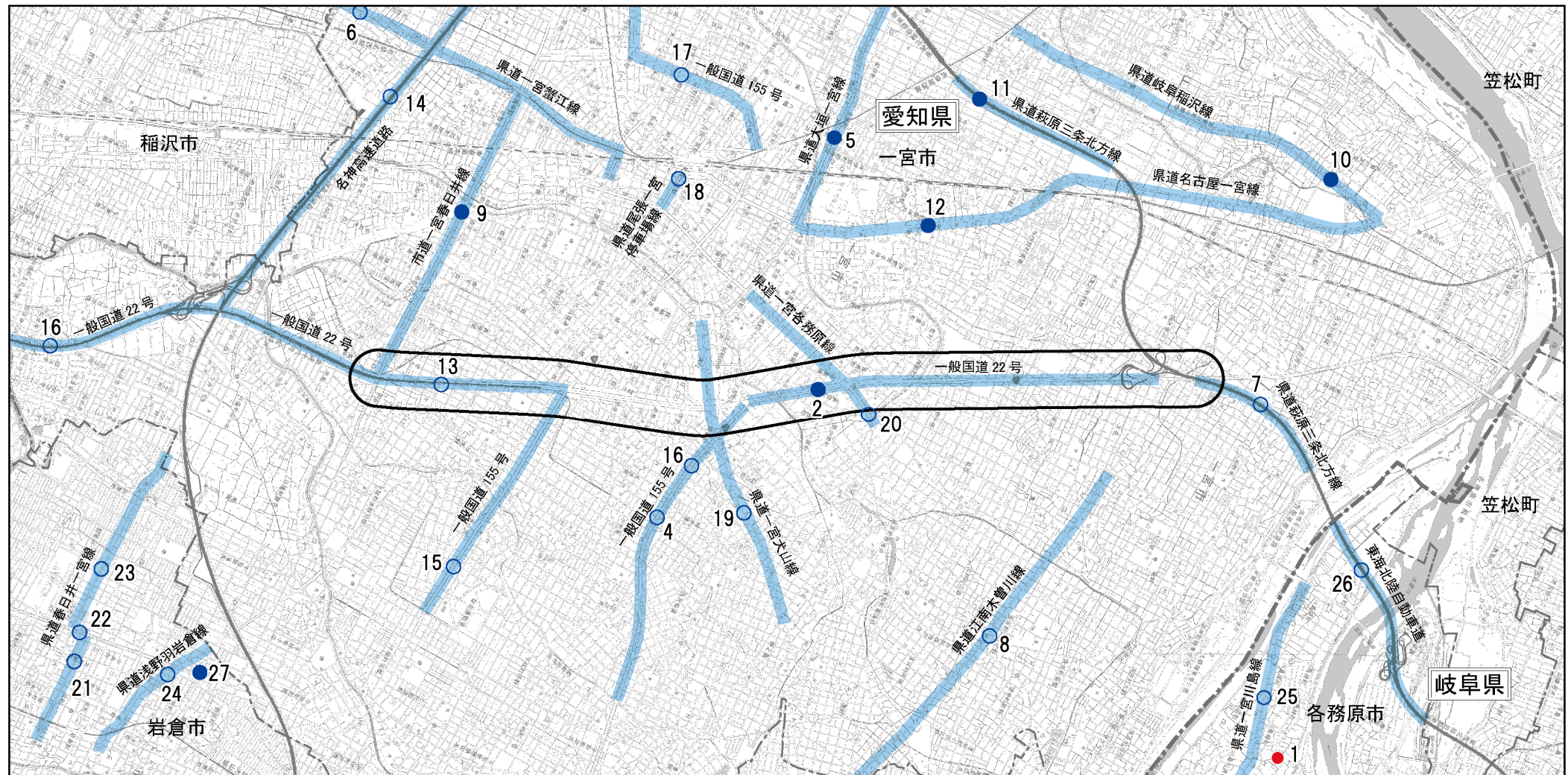
平成28年版 いちのみやの環境（平成28年12月、一宮市）

自動車騒音環境基準達成状況（令和元年度調査結果）（岩倉市ホームページ）

自動車騒音環境基準達成状況（平成27年度調査結果）（岩倉市ホームページ）

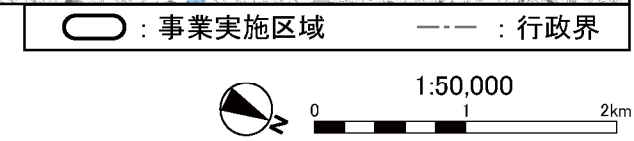
環境報告書令和2年度版（令和元年度実績報告）（令和2年9月、各務原市）

環境報告書平成28年度版（平成27年度実績報告）（各務原市）



凡例

記号	項目
●	一般騒音調査地点
■	道路交通騒音面的評価区間
●	道路交通騒音・振動調査地点
○	道路交通騒音調査地点



注) 調査地点及び面的評価区間はおよその位置を示す (No. 1及び27を除く)。
 出典：令和2年版 いちのみやの環境 (令和2年12月、一宮市)
 令和元年版 いちのみやの環境 (令和元年12月、一宮市)
 平成30年版 いちのみやの環境 (平成30年12月、一宮市)
 平成29年版 いちのみやの環境 (平成29年12月、一宮市)
 平成28年版 いちのみやの環境 (平成28年12月、一宮市)
 自動車騒音環境基準達成状況 (令和元年度調査結果) (岩倉市ホームページ)
 自動車騒音環境基準達成状況 (平成27年度調査結果) (岩倉市ホームページ)
 環境報告書令和2年度版 (令和元年度実績報告) (令和2年9月、各務原市)
 環境報告書平成28年度版 (平成27年度実績報告) (各務原市)
 2019年度交通騒音・振動調査結果について (愛知県ホームページ)

図 4-1-11 騒音・振動測定箇所位置図

② 要請限度の適合状況

調査区域における平成27年度から令和元（平成31）年度の騒音規制法（昭和43年6月10日法律第98号）に基づく自動車騒音の限度（要請限度）の適合状況評価地点は前掲の図4-1-11に、評価結果は表4-1-19に示すとおりです。

1 地点の夜間を除くすべての地点において、要請限度を下回っています。

表4-1-19 道路交通騒音測定結果（要請限度）

No	県	市	路線名	測定地点	騒音レベル(dB)		要請限度		調査年度
					昼間	夜間	昼間	夜間	
2	愛知県	一宮市	国道22号	高畑町2丁目	66	64	○	○	令和元年
3			国道22号	伝法町8丁目	73	71	○	×	
4			国道155号	柚木夙	64	63	○	○	
5			県道大垣一宮線	東出町	71	67	○	○	
6			県道一宮蟹江線	大和町氏永	67	60	○	○	
7			県道萩原三条北方線	光明寺	62	56	○	○	
8			県道江南木曾川線	浅井町大日比野	67	63	○	○	
9			市道一宮春日井線	森本3丁目	68	62	○	○	
10			県道岐阜稲沢線	木曾川町黒田	67	62	○	○	
11			県道萩原三条北方線	開明	66	61	○	○	平成30年
12			県道名古屋一宮線	今伊勢町新神戸	68	64	○	○	
13			国道22号	浅野	68	68	○	○	平成28年
14			名神高速道路	大和町氏永	66	61	○	○	
15			国道155号	南小渕	71	68	○	○	
16			国道155号	大赤見	60	57	○	○	
17			国道155号	住吉1丁目	64	60	○	○	
18			県道尾張一宮停車場線	栄4丁目	65	64	○	○	平成27年
19			県道一宮犬山線	大赤見	68	64	○	○	
20			県道一宮各務原線	中島通5丁目	67	61	○	○	
27		岩倉市	県道名古屋江南線	鈴井町	64	60	○	○	令和元年

注1) 各測定地点における最新調査年度の結果を示す。

注2) 昼間：6～22時、夜間：22～6時

注3) 要請限度達成は「騒音規制法第十七条第一項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める省令」（平成12年3月2日総理府令第15号）に基づく「幹線交通を担う道路に近接する区域」における自動車騒音の限度（昼間75dB、夜間70dB）により評価する。（○：下回っている ×：超過）

出典：自動車騒音・道路交通振動・新幹線鉄道騒音調査（一宮市ホームページ）

2019年度交通騒音・振動調査結果について（愛知県ホームページ）

4) 振動の状況

(1) 一般環境振動

調査区域において、一般環境振動の測定は行われていません。

(2) 道路交通振動

調査区域における令和元（平成 31）年度の道路交通振動測定地点は前掲の図 4-1-11 に、測定結果は表 4-1-20 に示すとおりです。

すべての測定地点において、振動規制法（昭和 51 年 6 月 10 日法律第 64 号）に基づく道路交通振動の限度（要請限度）を下回っています。

表 4-1-20 道路交通振動測定結果（要請限度）

No	県	市	路線名	測定地点	用途地域	振動レベル(dB)		要請限度		調査年度
						昼間	夜間	昼間	夜間	
2	愛知県	一宮市	国道 22 号	高畑町 2 丁目	準工業	46	43	○	○	令和元年
3			国道 155 号	柚木嵐	未指定	46	40	○	○	
4			県道大垣一宮線	東出町	工業	38	33	○	○	
5			県道一宮蟹江線	大和町氏永	未指定	39	30	○	○	
6			県道萩原三条北方線	光明寺	未指定	39	34	○	○	
7			県道江南木曾川線	浅井町大日比野	未指定	39	34	○	○	
8			市道一宮春日井線	森本 3 丁目	準住居	44	38	○	○	
27		岩倉市	県道名古屋江南線	鈴井町	未指定	44	39	○	○	

注1) 各測定地点における最新調査年度の結果を示す。

注2) 昼間：7～20時、夜間：20～7時

注3) 要請限度達成は「振動規制法施行規則」（昭和51年11月10日総理府令第58号）に基づき区域ごとに指定される道路交通振動の限度により評価する。（○：下回っている ×：超過）

注4) 区域の指定により、地点7の市道一宮春日井線のみ要請限度の基準値は昼間65dB、夜間60dB で、それ以外の地点は昼間70dB、夜間65dB である。

出典：自動車騒音・道路交通振動・新幹線鉄道騒音調査（一宮市ホームページ）
2019年度交通騒音・振動調査結果について（愛知県ホームページ）

5) その他の大気の状態（低周波音）

調査区域において、低周波音に関する測定は行われていません。

1.2 水象、水質、水底の底質その他水に係る環境の状況

1) 水象の概況

調査区域における主な河川は表 4-1-21 及び図 4-1-12 に示すとおりです。木曾川水系、庄内川水系、日光川水系の河川が伊勢湾に向かって流下しています。

各水系の概要は、表 4-1-22 に示すとおりです。

表 4-1-21 河川一覧

No	県	水系	河川名	延長 (km)	等級
1	愛知県・岐阜県	木曾川水系	木曾川	229.0	一級河川
2			南派川	7.7	一級河川
3			北派川	2.7	一級河川
4	愛知県	庄内川水系	青木川	20.9	一級河川
5			五条川	28.2	一級河川
6		日光川水系	日光川	41.3	二級河川
7			野府川	7.3	二級河川
8			北古川	2.2	二級河川

出典：河川調書(平成26年7月、岐阜県)

一宮建設事務所 河川・砂防事業(愛知県ホームページ)

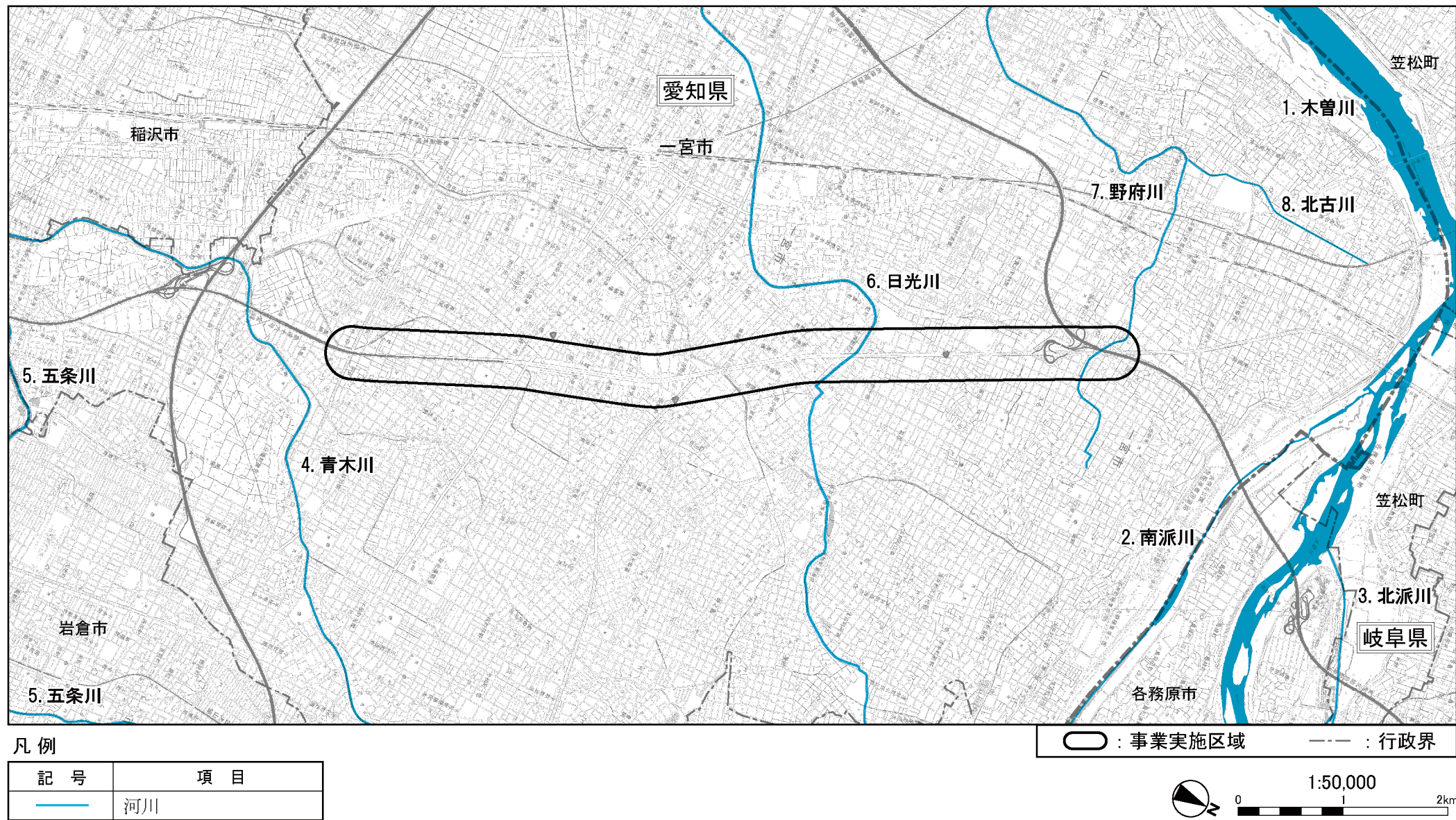
表 4-1-22 水系の概要

水系	木曾川	庄内川	日光川
区分	一級河川	一級河川	二級河川
水系の位置	長野県木曾郡木祖村の鉢盛山に発し、中山道沿いに南南西に下り、途中、王滝川、飛騨川、境川、新荒田川等の支川を合わせる。一宮市の西側を南下して、長良川と背割堤を挟んで並行して流れ、伊勢湾に注ぐ。	岐阜県恵那市の夕立山(標高 727m)に発し、瑞浪市で小里川、土岐市で妻木川、多治見市で笠原川等の支川を合わせる。愛知県境に位置する玉野溪谷を抜け、名古屋市の北西部を流下し、伊勢湾に注ぐ。	愛知県江南市の北部に発し、右支川野府川を一宮市内にて合わせ、流向を南に転じ、領内川、福田川等の支川を合わせ伊勢湾に注ぐ。
河川延長	約 229km	約 96km	約 41km
流域面積	約 5,275km ²	約 1,010km ²	約 299km ²
下流部の川幅	約 260~430m	約 170m	約 45m

出典：木曾川水系河川整備計画(平成20年3月(令和2年3月変更)、中部地方整備局)

庄内川水系河川整備計画(平成20年3月、中部地方整備局)

二級河川日光川水系 河川整備計画(平成23年5月13日(平成28年2月16日一部変更)、愛知県・名古屋市)



出典：木曾川水系河川整備計画（平成20年3月（令和2年3月変更）、中部地方整備局）
 庄内川水系河川整備計画（平成20年3月、中部地方整備局）
 二級河川日光川水系 河川整備計画（平成23年5月13日（平成28年2月16日一部変更）、愛知県・名古屋市）

図 4-1-12 河川位置図

2) 水質の状況

(1) 河川

① 生活環境項目

調査区域における令和元（平成 31）年度の公共用水域水質（生活環境項目）調査は木曾川の 1 地点で行われており、調査地点は図 4-1-14 に、調査結果は表 4-1-23(1)～(2)に示すとおりです。また、過去 5 年間の調査結果の推移は表 4-1-24 及び図 4-1-13 に示すとおりです。

令和元（平成 31）年度調査結果において、pH、溶存酸素量 (DO)、生物化学的酸素要求量 (BOD) 及び浮遊粒子状物質 (SS) は環境基準を達成しています。一方、大腸菌群数は環境基準を達成していません。また、水生生物の保全に係る環境基準項目は、全亜鉛のみ調査が行われており、環境基準を達成しています。

なお、調査区域外に位置する北今橋（日光川）及び板倉橋（日光川）においても調査が行われており、令和元（平成 31）年度調査結果では、すべての項目において環境基準を達成しています。

表 4-1-23(1) 水質（生活環境項目）調査結果（令和元（平成 31）年度）

NO	河川	調査地点	類型	pH	DO	BOD		SS	大腸菌群数
				最小～最大	最小～最大 (mg/L)	最小～最大 (mg/L)	年間 75%値 (mg/L)	最小～最大 (mg/L)	最小～最大 (MPN/100mL)
				m/n	m/n	m/n		m/n	m/n
①	木曾川	笠松 (木曾川橋)	A	6.9～7.6	7.6～12	<0.5～ 0.9	0.5	1～4	1.7×10 ³ ～ 4.9×10 ³
				0/12	0/12	0/12		0/12	4/4
環境基準			A	6.5～8.5	7.5 以上	2 以下		25 以下	1,000 以下

注1) m：環境基準に適合しない検体数 n：総検体数

注2) pH、DO、SS、大腸菌群数及び BOD（最小～最大）は年平均値を示す。

注3) pH、DO、SS、大腸菌群数は年平均値、BOD は年間75%値を評価する。

出典：平成31年度公共用水域の水質調査結果総括表（岐阜県ホームページ）

表 4-1-23(2) 水質（生活環境項目のうち水生生物の保全に係る環境基準項目）調査結果（令和元（平成 31）年度）

NO	河川	調査地点	類型	全亜鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベン ゼンスルホン酸 及びその塩
				(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
				m/n	m/n	m/n
①	木曾川	笠松（木曾川橋）	生物 B	0.0030	-	-
				0/4	-	-
環境基準			生物 B	0.03 以下	0.002mg/L 以下	0.05mg/L 以下

注1) m：環境基準に適合しない検体数 n：総検体数

注2) 年平均値を示す。－は測定が行われていないことを示す。

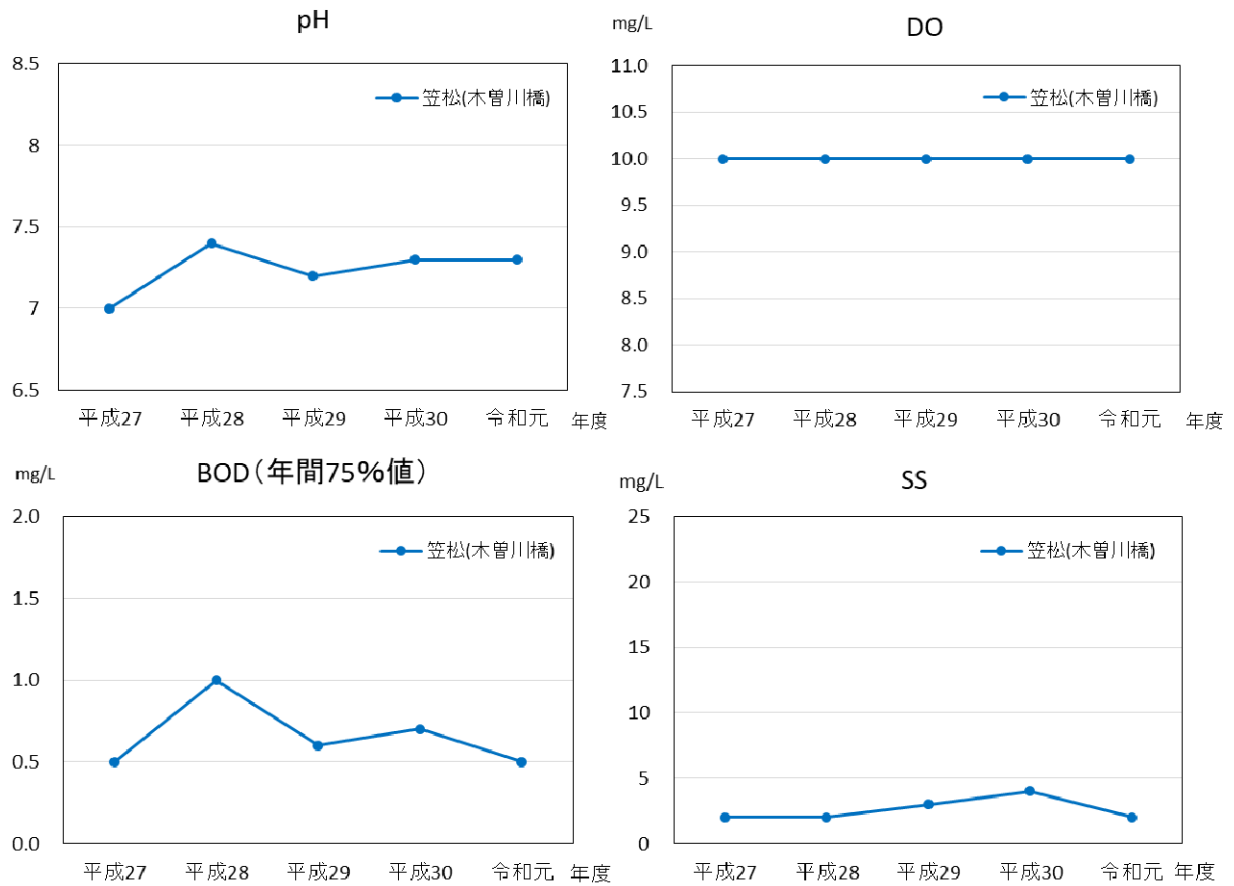
出典：平成31年度公共用水域の水質調査結果総括表（岐阜県ホームページ）

表 4-1-24 水質（生活環境項目）の経年変化

No	調査地点	項目	年 度				
			平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元 (平成 31) 年
①	笠松 (木曾川橋)	pH(mg/L)	7.0	7.4	7.2	7.3	7.3
		DO(mg/L)	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
		BOD 年間 75% 値(mg/L)	0.5	1.0	0.6	0.7	0.5
		SS(mg/L)	2	2	3	4	2
		大腸菌群数 (MPN/100mL)	3.9×10^3	1.9×10^3	1.0×10^4	6.1×10^2	3.5×10^3

注) BOD は年間75%値、その他の項目は年平均値を示す。

出典：平成31年度公共用水域の水質調査結果総括表（岐阜県ホームページ）



注) 大腸菌群数は数値の差が大きいため図示していない。

出典：平成31年度公共用水域の水質調査結果総括表（岐阜県ホームページ）

図 4-1-13 水質（生活環境項目）の経年変化

② 健康項目

調査区域における令和元（平成 31）年度の公共用水域水質（健康項目）調査は木曽川の 1 地点で行われており、調査地点は図 4-1-14 に、調査結果は表 4-1-25 に示すとおりです。

測定が行われた鉛及び砒素について、環境基準を達成しています。

なお、調査区域外に位置する北今橋（日光川）及び板倉橋（日光川）においても調査が行われており、令和元（平成 31）年度調査結果では、すべての項目において環境基準を達成しています。

表 4-1-25 水質（健康項目）測定結果（令和元（平成 31）年度）

項目	No	①	環境基準
	河川	木曽川	
	調査地点	笠松（木曽川橋）	
カドミウム	(mg/L)	-	0.003 mg/L 以下
全シアン	(mg/L)	-	検出されないこと
鉛	(mg/L)	<0.005	0.01 mg/L 以下
六価クロム	(mg/L)	-	0.05 mg/L 以下
砒素	(mg/L)	<0.005	0.01 mg/L 以下
総水銀	(mg/L)	-	0.0005 mg/L 以下
アルキル水銀	(mg/L)	-	検出されないこと
PCB	(mg/L)	-	検出されないこと
ジクロロメタン	(mg/L)	-	0.02 mg/L 以下
四塩化炭素	(mg/L)	-	0.002 mg/L 以下
1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	-	0.004 mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	-	0.1 mg/L 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	-	0.04 mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	-	1 mg/L 以下
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	-	0.006 mg/L 以下
トリクロロエチレン	(mg/L)	-	0.01 mg/L 以下
テトラクロロエチレン	(mg/L)	-	0.01 mg/L 以下
1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	-	0.002 mg/L 以下
チウラム	(mg/L)	-	0.006 mg/L 以下
シマジン	(mg/L)	-	0.003 mg/L 以下
チオベンカルブ	(mg/L)	-	0.02 mg/L 以下
ベンゼン	(mg/L)	-	0.01 mg/L 以下
セレン	(mg/L)	-	0.01 mg/L 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)	-	10 mg/L 以下
ふっ素	(mg/L)	-	0.8 mg/L 以下
ほう素	(mg/L)	-	1 mg/L 以下
1,4-ジオキサン	(mg/L)	-	0.05 mg/L 以下

注1) 年平均値を示す。<は数値未満、-は測定が行われていないことを示す。

注2) 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。

出典：平成31年度公共用水域の水質調査結果総括表（岐阜県ホームページ）

③ ダイオキシン類

調査区域においてダイオキシン類の調査は行われていません。

なお、調査区域外に位置する北今橋（日光川）において調査が行われており、令和元（平成 31）年度調査結果では、環境基準を達成しています。

(2) 湖沼及び海域

調査区域に湖沼及び海域は存在しません。

3) 水底の底質

調査区域において水底の底質（ダイオキシン類）の調査は行われていません。

なお、調査区域外に位置する北今橋（日光川）及び板倉橋（日光川）においても調査が行われており、令和元（平成 31）年度調査結果では、環境基準を達成しています。

4) その他水に係る環境（地下水水質）

調査区域における井戸を対象とした令和元（平成 31）年度の地下水水質調査は、一宮市の 6 地点で定期モニタリング調査が行われています。調査地点は図 4-1-14 に、調査結果は表 4-1-26 に示すとおりです。

すべての地点において環境基準を達成しています。

表 4-1-26 地下水水質調査結果（令和元（平成 31）年度）

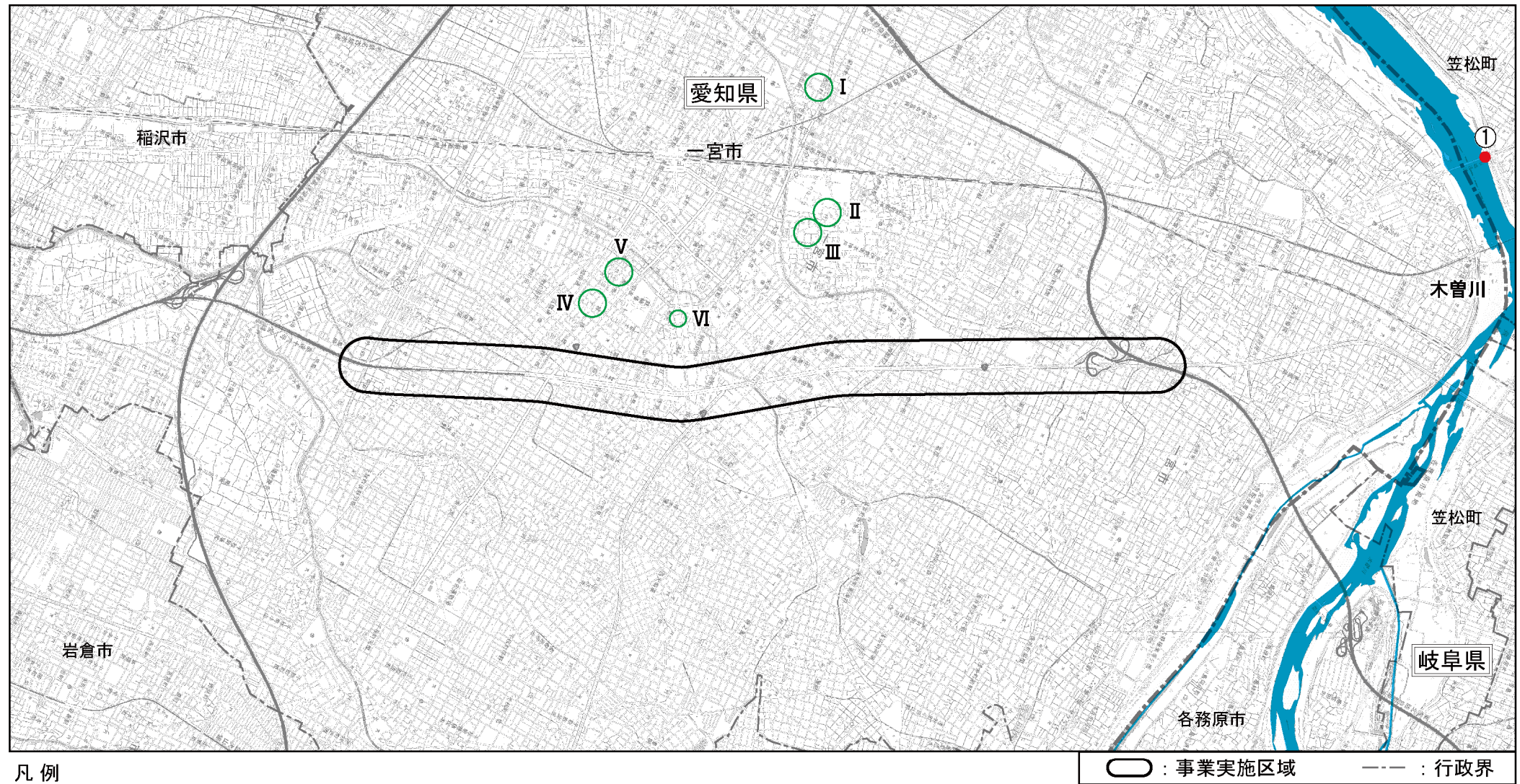
項目	No	I	II	III	IV	V	VI	環境基準
	設置場所	西出町	今伊勢町 本神戸 字宮山	今伊勢町 本神戸 字中町	緑 1 丁目	泉 2 丁目	浜町 3 丁目	
	使用用途	生活用水	生活用水	生活用水	生活用水	生活用水	生活用水	
	採水年月日	R1. 11. 28	R1. 11. 28	R1. 11. 28	R1. 11. 26	R1. 11. 26	R1. 11. 26	
環境基準項目	砒素 (mg/L)	—	—	—	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 mg/L 以下
	クロロエチレン (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	0.002 mg/L 以下
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.01	<0.01	<0.01	—	—	—	0.1 mg/L 以下
	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	—	—	—	0.04 mg/L 以下
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	1 mg/L 以下
	トリクロロエチレン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	0.01 mg/L 以下

注1) <は数値未満、—は測定が行われていないことを示す。

注2) 環境基準項目のうち、測定項目のみ記載している。

注3) 基準値は年間平均値とする。

出典：2019年度地下水の水質調査結果（一宮市ホームページ）



凡例

記号	項目
●	水質調査地点
○	地下水水質調査地点

注) 地下水水質調査地点はおおよその位置を示す。
 出典：平成31年度公共用水域の水質調査結果（岐阜県ホームページ）
 2019年度地下水の水質調査結果（一宮市ホームページ）

図 4-1-14 水質調査地点位置図

1.3 土壌及び地盤の状況

1) 土壌の状況

(1) 土壌の区分及び分布状況

調査区域における土壌の状況は、図 4-1-15 に示すとおりです。

一宮市中心部周辺等は人工改変地となっており、その他は主に褐色低地土壌や黄色土壌、灰色低地土壌が分布しています。

(2) 土壌汚染の状況

調査区域における土壌中ダイオキシン類濃度の調査地点は図 4-1-16 に、調査結果は表 4-1-27 に示すとおりです。

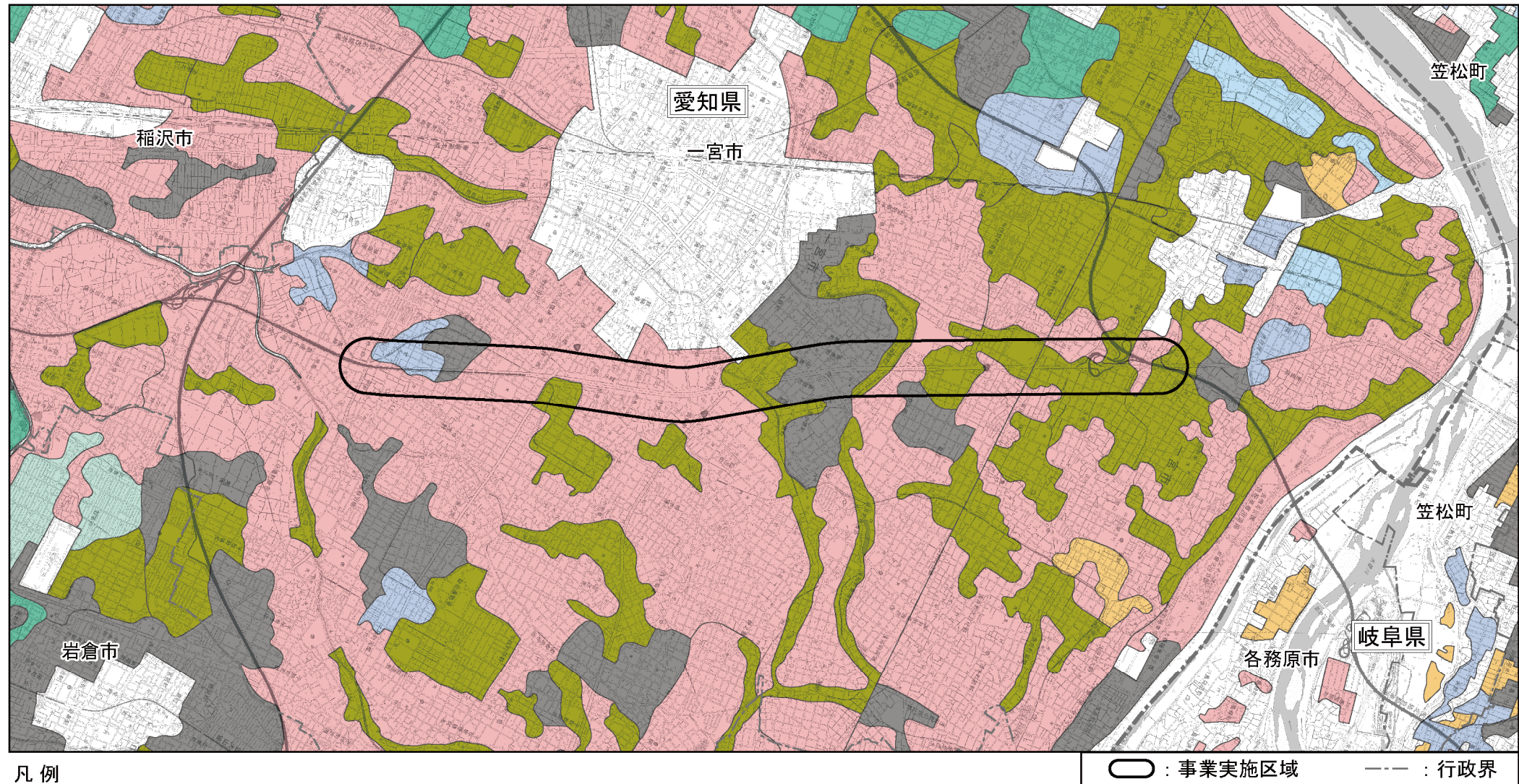
過去 5 年間のうち、平成 27 年度に 2 地点で、平成 28 年度に 1 地点で調査が行われており、すべての地点において環境基準を達成しています。

表 4-1-27 土壌中ダイオキシン類濃度調査結果

No	県	市	測定地点	調査結果 (pg-TEQ/g)	調査年度	環境基準 (pg-TEQ/g)
1	愛知県	一宮市	常念公園	0.0035	平成 27 年度	1,000
2			今伊勢西小学校	0.020		
3			浅井山公園	0.0067	平成 28 年度	

出典：平成27年度ダイオキシン類に係る環境調査結果について（愛知県ホームページ）

平成28年度ダイオキシン類に係る環境調査結果について（愛知県ホームページ）



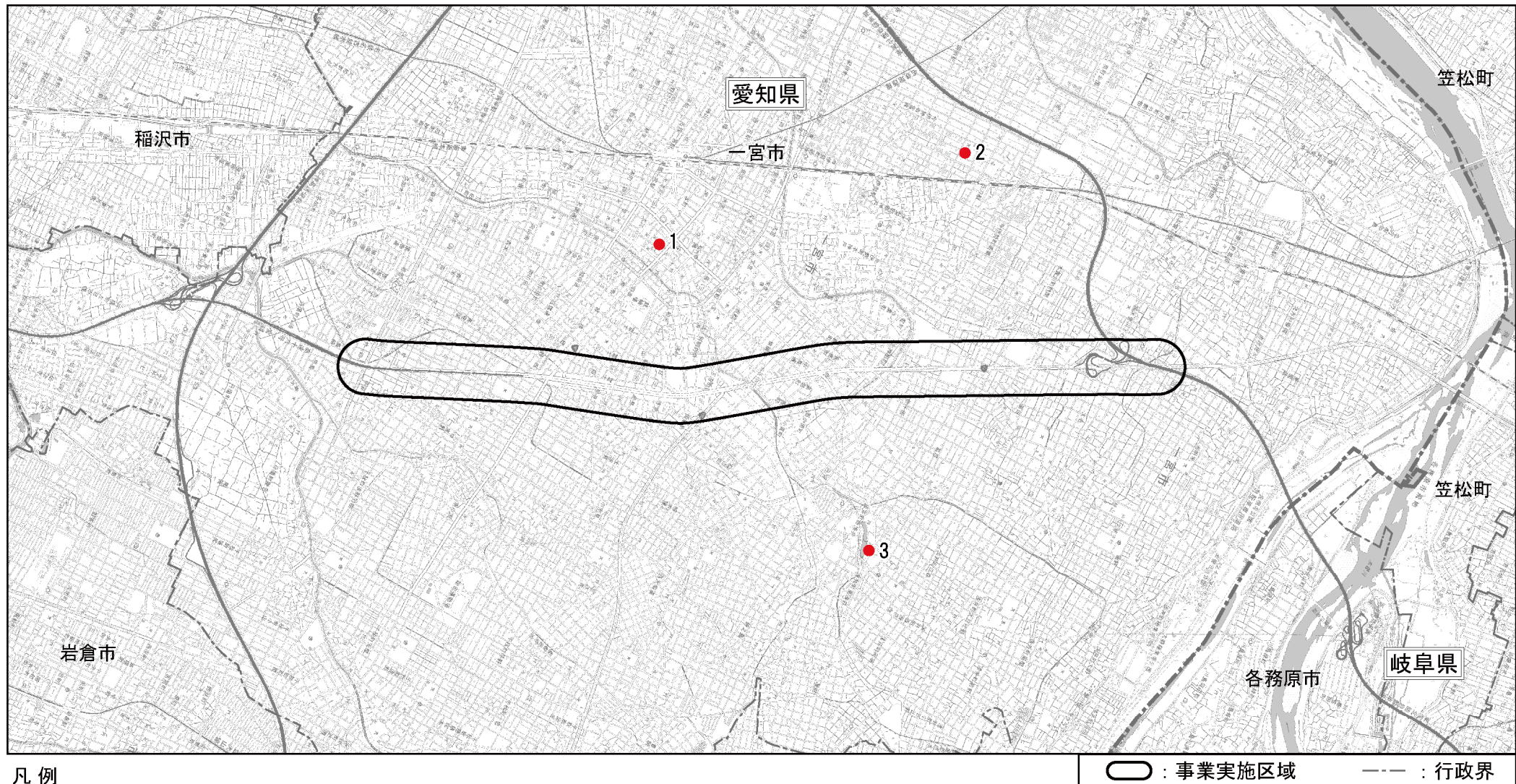
凡例

- | | | |
|-----------------|-----------|--------|
| 台地及び低地域土壌（農地土壌） | | その他 |
| ■ 黄色土壌 | ■ 灰色低地土壌 | □ 未区分地 |
| ■ 褐色低地土壌 | ■ 細粒グライ土壌 | |
| ■ 褐色低地土壌（砂礫質） | ■ グライ土壌 | |
| ■ 細粒灰色低地土壌 | | |

出典：20万分の1 土地分類基本調査(GIS データ) 土壌図（国土交通省国土政策局ホームページ）

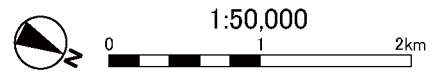


図 4-1-15 土壌の状況



凡例

記号	項目
●	ダイオキシン類調査地点



出典：平成27年度ダイオキシン類に係る環境調査結果について（愛知県ホームページ）
平成28年度ダイオキシン類に係る環境調査結果について（愛知県ホームページ）

図 4-1-16 土壌汚染調査地点位置図

2) 地盤の状況

(1) 地盤の状況

「令和元年における濃尾平野の地盤沈下の状況（令和2年8月、東海三県地盤沈下調査会）」によると、調査区域が位置する濃尾平野では昭和50年頃までは激しい沈下現象を示していましたが、現在では濃尾平野中西部を除き、地盤沈下は沈静化しています。

なお、一宮市及び稲沢市は、「工業用水法」（昭和31年法律第146号）に基づく指定地域及び「県民の生活環境の保全等に関する条例」（平成15年3月25日愛知県条例第7号）に基づく規制地域に含まれ、地下水の使用に関する許可基準や揚水量報告の義務等が定められています。

調査区域において、「建築物用地下水の採取の規制に関する法律」（昭和37年5月1日法律第100号）に基づく指定地域に含まれる市町は存在しません。

(2) 地盤沈下の状況

調査区域における地盤沈下の調査地点は図4-1-17に、調査結果は表4-1-28(1)～(2)に示すとおりです。

令和元（平成31）年度に一宮市では25地点、岩倉市では2地点で調査が行われており、年間変動量は-0.65～-0.21cm、累積は-19.21～-1.62cmとなっています。

表 4-1-28 (1) 地盤沈下調査結果（令和元（平成31）年度）

No	県	市	所在地	累積開始年	令和元年 標高 (m)	年間 変動量 (cm)	令和元年 累積 (cm)
1	愛知県	一宮市	中島通5丁目86-1地先	昭和38年	9.6162	-0.38	-5.56
2			木曾川町黒田九ノ通り51	昭和46年	8.8900	-0.34	-9.62
3			牛野通3丁目25-2	昭和36年	7.9502	-0.38	-16.99
4			花池2丁目9番	昭和47年	7.1810	-0.44	-3.77
5			本町1丁目3番	昭和36年	8.6849	-0.21	-3.22
6			千秋町町屋字端畑	昭和46年	11.6642	-0.28	-4.30
7			春明字川戸	昭和46年	13.7497	-0.34	-19.21
8			春明字裏山15	昭和50年	12.9348	-0.32	-3.29
9			今伊勢町新神戸字新開915	昭和38年	8.0256	-0.32	-7.84
10			今伊勢町馬寄字六地藏46-1	昭和46年	8.1625	-0.27	-6.16
11			浅井町東浅井	昭和46年	11.8030	-0.45	-6.09
12			島村字岩畑55-1地先	昭和38年	11.1108	-0.46	-6.67
13			木曾川町黒田四ノ通り65地先	昭和38年	7.7633	-0.21	-8.38
14			木曾川町玉ノ井字寺東27-1	昭和46年	7.4778	-0.57	-11.59
15			木曾川町外割田字西郷東63	昭和51年	7.5443	-0.49	-5.24
16			木曾川町里小牧字北青木25	昭和54年	8.2547	-0.51	-6.48
17			木曾川町里小牧字新田207	昭和51年	9.0685	-0.57	-11.66
18			木曾川町黒田字西針口北切10	昭和38年	9.4135	-0.57	-17.87

表 4-1-28 (2) 地盤沈下調査結果 (令和元 (平成 31) 年度)

No	県	市	所在地	累積 開始年	令和元年 標高 (m)	年間 変動量 (cm)	令和元年 累積 (cm)
19	愛知県	一宮市	北方町北方字倉骨 16 地先	昭和 38 年	15.9829	-0.57	-17.10
20			光明寺字石原	昭和 48 年	16.4182	-0.65	-8.88
21			笹野字宮西北	昭和 49 年	11.7064	-0.49	-5.01
22			浅井町極楽寺	昭和 48 年	19.1311	-0.63	-9.00
23			浅井町極楽寺	昭和 48 年	17.0464	-0.54	-9.07
24			浅井町大野	昭和 48 年	19.1020	-0.59	-8.28
25			浅井町黒岩字石刀塚 46 地先	昭和 62 年	16.5436	-0.59	-3.24
26		岩倉市	北島町川田 2 番地	昭和 55 年	8.0126	-0.36	-2.35
27			西市町竹之宮 24 番地	昭和 52 年	8.9118	-0.36	-1.62

出典：マップあいち「愛知県水準測量調査結果」(愛知県ホームページ)
令和2年版いちのみやの環境 (令和2年12月、一宮市)

3) 地下水位の状況

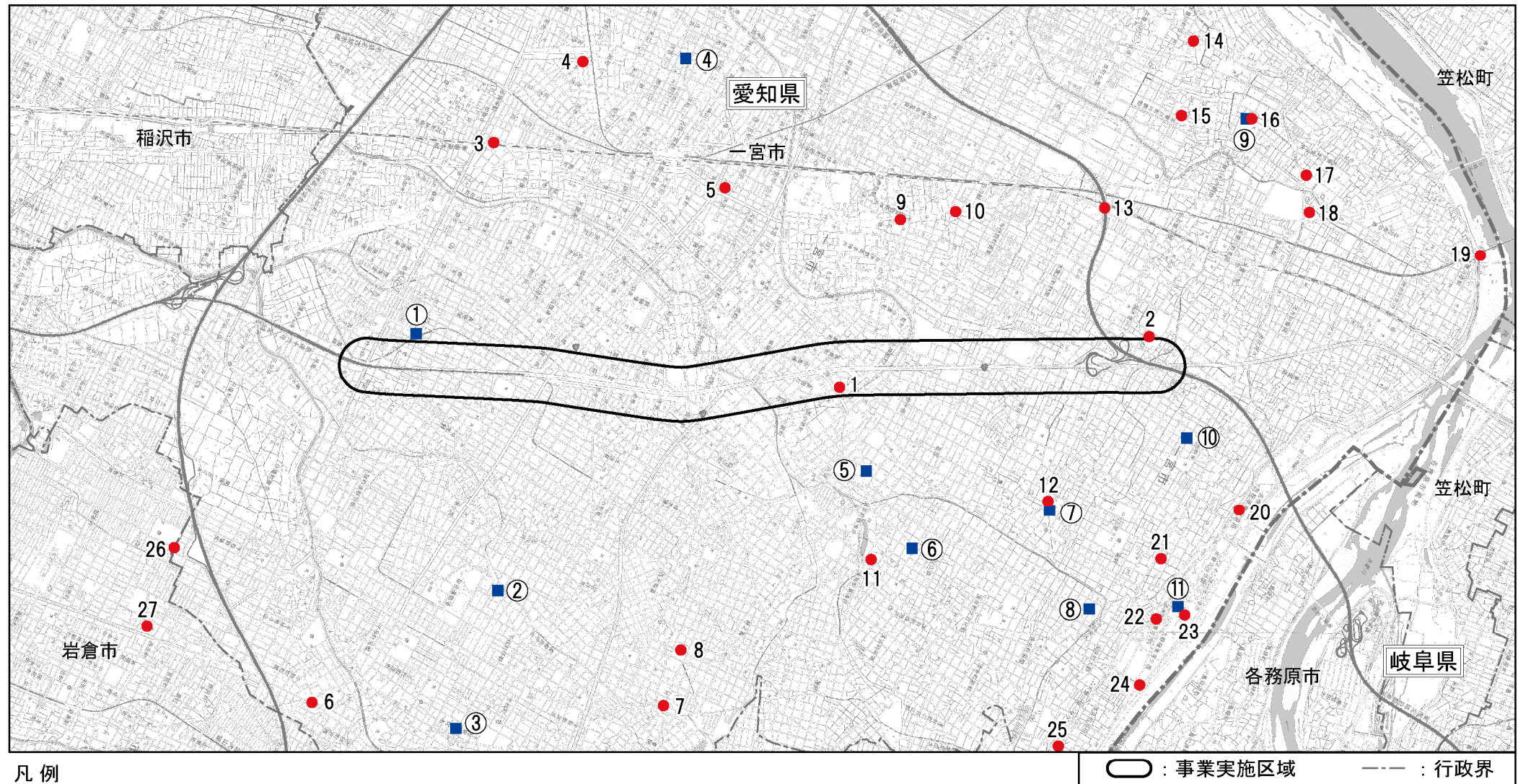
調査区域における地下水位調査地点は図 4-1-17 に、調査結果は表 4-1-29 に示すとおりです。

令和元 (平成 31) 年度に一宮市では 11 地点で調査が行われており、地下水位の平均は 3.15 ~7.70m となっています。

表 4-1-29 地下水位調査結果 (令和元 (平成 31) 年度)

No	県	市	所在地	観測所名	ストレーナー 位置 (m)	固定点 標高 (m)	地下水位 (静水位) (m)	
							平均	変動幅
①	愛知県	一宮市	せんい 3 丁目 1-1	丹陽西部水源地	111~126	9.10	5.86	0.38
②			千秋町浮野 字西望戸 6-1	一宮地盤沈下 観測所	176~196	11.04	5.47	0.72
					76~96	11.05	5.42	0.74
					28~38	11.04	3.30	0.94
③			千秋町穂積塚本 字宮西 223	千秋北部水源地	29~45 51~62	12.60	3.15	0.99
④			住吉 1 丁目 3-6	西部水源地	186~192 213~259	10.62	7.40	0.67
⑤			佐千原字椿 19-1	佐千原浄水場 1 号	41~47 56~67	11.33	5.44	1.29
⑥			浅井町西浅井 字郷裏 20	浅井南部水源地	58~85	11.52	3.60	1.53
⑦			島村字西山 105-4	葉栗南部水源地	55~69 78~83	11.07	3.55	1.57
⑧			浅井町尾関 字長田 3-1	尾関水源所	72~84 110~126	13.19	6.80	1.24
⑨			木曾川町里小牧 字南青木 39	木曾川地盤沈下 観測所	125~147	8.83	4.30	0.52
	78~88	8.83			4.37	0.91		
⑩	光明寺字番陽 18	葉栗北部水源地	40~48 57~68	9.97	3.95	1.55		
⑪	浅井町極楽寺 字池 624	極楽寺水源所 3 号	114~126 147~153	14.50	7.70	1.59		

出典：令和2年版いちのみやの環境 (令和2年12月、一宮市)



凡例

記号	項目
●	地盤沈下調査地点
■	地下水位調査地点

出典：マップあいち「愛知県水準測量調査結果」（愛知県ホームページ）
 令和元年度濃尾平野地域地盤沈下等量線図（令和2年8月、東海三県地盤沈下調査会）
 令和2年版あいちのみやの環境（令和2年12月、一宮市）

図 4-1-17 地盤沈下調査地点及び地下水位調査地点位置図